

議会だより みなかみ

令和6年
2024年
1月15日発行
77号
群馬県利根郡みなかみ町

新春万福

みなさまの飛翔を祈念します

特集

中学生議会

表紙 谷川岳の山影

(ぜひ上下反転でもご覧ください)

12月定例議会

特集 中学生議会	2
本会議審議内容及び結果	4
一般質問	7
活動報告	13
まちの匠	17



バックナンバー
が見られます。



第6回 中学生議会開会



11月10日、中学生議会が開会され、みなかみ中学校3年生の代表生徒6人が一般質問を行いました。

新井 大貴 ひろき 公共交通の発展

問 少子高齢化が進み、人口が徐々に減ってきているため、公共交通機関が衰退し、観光業に支障が出ると思います。交通網の発展を目指すことで、観光客の増加と、失った活気をとり戻すことができるのではないのでしょうか。

数を町の一存で変更することは出来ませんが、町は様々な取り組みを行っています。



答 町長 駅からの乗り継ぎ等、2次交通の少なさは観光の町として大きな課題です。バス、タクシーや鉄道は民間事業者による運営のため、運行路線や便

答 企画課長 路線バス通学定期券購入補助金・運賃助成事業、シェアカー事業者の誘致等を行っています。多くの課題があるので、補助事業利用状況や皆さんの意見、他地域における事例を参考に検討したいと考えています。

小倉 太吉 たいち 空き家問題を解決し景観の保全へ

問 町における空き家は増加傾向で、それに伴い観光客数も徐々に減少しています。空き家が多くあることにより景観が悪化し、足を運びにくくなるのではないのでしょうか。

答 地域整備課長 景観の悪化等は質問のとおりだと思います。平成30年度から解体費用の一部を補助し、空き家削減を推進しています。



答 町長 令和2年度に町内全域の空き家等の実態調査を行いました。住民の安全で安心な暮らしを確保するため、「空き家等対策計画」を基本として事業を推進していきます。

答 環境課長 空き家に対する町民からの相談には、まず現場を確認し情報収集を行い、土地・建物の所有者や管理者へ相談内容を伝え、対応をお願いしています。

高橋 龍矢 りゅうや 移住者の呼び込みについて

問 町の最大課題は人口減少だと思えます。解決策は移住者の呼び込みで、移住先に選ばれるために町の良さをアピール、観光業振興の補助金、観光案内所の拡大、観光客や移住希望者と町民の交流イベントの開催等を提案します。

くの方に伝えていくことは、移住者に町を選んでもいただく判断材料になるので、今後も行っていきたいと思えます。



答 町長 町の強みである自然を生かした取り組みを多くの方に知っていただき、町を訪れていただくための支援を行っています。町の魅力を効果的に多

答 企画課長 移住時の経済的負担を軽減するため、支援金の交付や新幹線通勤定期券等の一部補助を行っています。

河合 碧音 あおね 安心して出産・子育てができる町へ

問 安心して出産・子育てができる町にするために、産科や産婦人科及び母親たちのメンタルケアができる場所の設置を提案します。母親が安心できる場をつくることは、少子化対策につながるのではないかと思います。

医師の確保をはじめ様々な医療課題に取り組んでいます。



答 町長 町単独で産科等を設置することは、産科医の不足や多額な費用を要することから非常にハードルが高いものです。利根沼田で医療圏域を形成し、

答 子育て健康課長 こども家庭相談係には、妊娠から出産、子育てをトータルでサポートする子育て世代包括支援センター「すくすく」が設置されていて、保健師、公認心理師や保育士が常駐し、相談に対応できる態勢が整っています。

清水 惺麻 せいま 若者たちに人気の観光スポットに向けて

問 若者たちに人気の観光スポットがあることで、ここに住みたい、行ってみたいと思ってもらえる町づくりが大切だと思います。町の自然を活かし、他のところでは味わえない感覚の施設を造れば人気が出るのではないのでしょうか。

的に展開していきます。



答 町長 自然や温泉などを活用したイベントや、若者からファミリーまで楽しめる施設の設置を進めています。「また来たい！」と思われる仕組みを戦略

答 観光商工課長 アクティビティ体験者や観光客の拠点である「道の駅水紀行館」と周辺の河川空間を一体的に整備する「かわまちづくり事業」を実施しています。カフェやオープンデッキの設置が計画され、若者を意識した事業です。

ハリソン ひかり はりそん みなかみ18湯をもっと知ってもらうために

問 観光客がさらに足を止めてくれる町となるために、みなかみ18湯を利用し観光客限定のサービスや、飲食店、アウトドア会社、宿泊施設などの割引券を配布する「みなかみ18湯スタンプリー」を提案します。

答 観光商工課長 日帰りのお客様を宿泊につなげる取り組みを行うことが重要です。県や県内主要温泉地と連携し、ターゲットのお客様を国内だけでなく国外にも広げ、二泊以上の連泊を推進する取り組みを考えています。



小倉 太吉 たいち 空き家問題を解決し景観の保全へ

問 観光客がさらに足を止めてくれる町となるために、みなかみ18湯を利用し観光客限定のサービスや、飲食店、アウトドア会社、宿泊施設などの割引券を配布する「みなかみ18湯スタンプリー」を提案します。

答 観光商工課長 日帰りのお客様を宿泊につなげる取り組みを行うことが重要です。県や県内主要温泉地と連携し、ターゲットのお客様を国内だけでなく国外にも広げ、二泊以上の連泊を推進する取り組みを考えています。



12月定例議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

議案番号	議案内容	議決結果
承認 第 5 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	
議案 第 57 号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
第 58 号	町長、副町長及び教育長の給与並びに旅費に関する条例及び議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	
第 59 号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
第 60 号	町長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	
第 61 号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	
第 62 号	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	
第 63 号	水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	
第 64 号	再生可能エネルギー発電設備の適正な設置に関する条例の一部を改正する条例	
第 65～91 号	指定管理者の指定 ※6ページ参照	
第 92 号	一般会計補正予算(第4号)	
第 93 号	下水道事業特別会計補正予算(第2号)	
第 94 号	水道事業会計補正予算(第2号)	

12月議会あらまし

委員長・議長は採決に加わりません

陳情

件名	陳情人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
第2号 ごみ処理行政の改善を求める陳情書	みなかみ町のごみ問題を考える会 代表 大坪 進	産業観光生活環境常任委員会 全会一致 不採択すべきもの	賛成少数 1:12 不採択
第3号 国民のいのちと健康を守るため、医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書	群馬県医療労働組合連合会 中央執行委員長 出浦 匠人	総務文教厚生常任委員会 賛成多数 4:2 趣旨採択すべきもの	全会一致 趣旨採択

12月5日から13日までの会期中12月定例議会を開いた。承認1件、条例8件、指定管理27件、補正予算3件を審議した。一般質問は5人であった(7ページ)。

第2号 ごみ処理経費の削減、回収環境の整備、分別・減量、回収方法の周知を求めるもの

賛成 星野宗央議員

町は20年以上も続けていたRDFのごみ処理を転換しなければならぬ状況に追い込まれた。本陳情には「RDF事業の失敗から事業を撤退」との厳しい指摘がある。これを議会として正面から受け止めるべきである。ごみ行政は、本陳情を活かし住民の皆さんと取り組まないとこれから益々大変になる。陳情項目は全て実現可能であり、これからの町に必要なため、採択し広域化の準備も含め進めて欲しい。

反対 江口 樹議員

陳情趣旨に「RDF事業の失敗から事業を撤退、無駄遣いが行われてきた、民間事業者の処理費は他の広域処理と比べて高額になっている」とあるが、当局より、「RDF事業は失敗から事業を撤退したのではなく、施設の老朽化や経費の削減、安定処理についてなど、十分な検討をした上で、広域処理事業へ転換した経緯がある」と説明を受けた。陳情事項は、当然すべきこと、また既に取り組んでいることではあるものの、趣旨にあることは事実と異なると考えられ、採択することはできない。



監査

10月27日 監査委員工事監査

新治学校給食センター空調設備改修工事、狭あい道路整備等促進事業町道月夜野71号線道路拡幅工事、かわまちづくり事業池造成工事、防災・安全交付金事業町道鹿野沢大穴線除雪機械格納庫新築工事の現地調査を行った。工事が適法かつ合理的・能率的に行われているか、また経済的

に妥当であるか。施工及び管理が適切に行われているか、工事監理・監督は適正に行われているかを重点項目とし、主に関係記録・工事記録写真の閲覧、担当職員等への質問を行い監査した。特に異状がないこと、また問題点がないことを確認した。



新治学校給食センター。クレーンの先に吊されているのが新しい空調設備です。

補正

総額 166億7505万円
補正額 12億3582万円

(端数処理あり)

歳出

エネルギー・食料品等価格高騰生活支援給付金事業	……1億6195万円
小中学校統合推進事業	……1億4888万円
その他	……9億2499万円

歳入

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	……1億6195万円
教育債(過疎・合併)	……1億4070万円
その他	……9億3317万円

町政を問う

一般質問 Questions

一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。

執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

事前通告一覧

- 星野 宗央** ほしの かずひさ
 ①マイナンバーカードの利用状況
 ②産官学金連携協定について
- 石坂 欣也** いしがか きんや
 ①温泉文化ユネスコ無形文化遺産登録に伴う本町の取り組み
 ②本町における文化財、維持、管理
 ③円滑な町政運営について
- 鈴木 美香** すずき みか
 ①『赤谷プロジェクト』が20周年を迎えるにあたって
 ②CAPこどもの人権（安心・安全・自由の権利を守る）プログラムの導入を
- 小林 洋** こばやし ひろし
 ①日帰り温泉施設について
- 阿部 清** あべ きよし
 ①水道水の安定供給に向けた取り組み

指定管理者 の指定

施設名称	指定管理者
みなかみ町公衆浴場 いこいの湯	猿ヶ京区
みなかみ町月夜野学童クラブ	月夜野わんぱくクラブ運営委員会
みなかみ町月夜野第2学童クラブ	(一社) だうば
みなかみ町保健福祉センター	(福) みなかみ町社会福祉協議会
みなかみ町交流促進センター (太助の郷)	太助の郷農産物生産者組合
みなかみ町産地形成促進施設 (月夜野はーべすと)	(株) 月夜野はーべすと
みなかみ町農林漁業体験実習館 (豊楽館)	たくみの里共同事業体
みなかみ町農産物加工施設 (福寿茶屋)	
みなかみ町手づくり郷土の香りの家	
みなかみ町フルーツ公園 (桃李館)	
寺間運動公園	群馬スノーアライアンス (株)
みなかみ町カルチャーセンター	(一社) みなかみ町シルバー人材センター
みなかみ町健康福祉施設 湯テルメ・谷川	(株) 水の故郷
みなかみ町猿ヶ京温泉交流公園「満天星の湯」	(株) 猿ヶ京温泉夢未来
みなかみ町猿ヶ京温泉給湯施設	
第2号みなかみ町駐車場	大穴区
猿ヶ京温泉屋内運動場	猿ヶ京温泉民宿組合
湯宿温泉屋内運動場	みなかみ町ゲートボール協会新治地区
みなかみ町真沢ファーム交流施設	(株) VILLAGE INC
みなかみ町農村交流公園 (遊神館)	(株) たくみの里
みなかみ町たくみの家 木工の家	たくみの里木工芸振興会
みなかみ町たくみの家 竹細工の家	竹細工振興会
みなかみ町たくみの家 わら細工の家	みなかみ町老人クラブ連合会新治支部
みなかみ町たくみの家 陶芸の家	たくみの里陶芸振興会
みなかみ町たくみの家 和紙の家	たくみの里和紙工芸振興会
みなかみ町ふれあい交流館	(同) bottlekeep
みなかみ町ふれあい・やすらぎ温泉センター「上牧 風和の湯」	上牧温泉旅館協同組合





阿部 清 議員

町長 水上中部地区水道施設の統合は計画を策定する準備を進める

問 綱子区では、今年の夏から秋にかけて浄水場の水が濁れ深刻な水不足となった。近年の異常気象の影響により、来年以降も起こる可能性が考えられる。今後の応急的な対策は。

答 町長 今後はこの地域の安定供給を図るためにも計画を見直し、現状を踏まえた施設の統合計画を策定する準備を進める。

問 この計画を進めるにあたり、火災など有事の際の備えとして、消火栓設置を同時に進めてほしいが。

答 町長 補助金の活用推進を行い、定期的に運営に関する意見交換会を実施していく。

問 近年、町内の至る所で水道管の破損事故が発生し、断水が報告されている。断水が報告された水道管の更新は、災害時のライフラインの確保からも喫緊の課題である。今後どのように進めて行くのか。

問 水道事業を担当する職員は、深刻化する漏水対応などで、昼夜を問わず四六時中対応にあたっている。老朽化が進む施設の更新や、不測の事態に対処していくためにも体制の改善が必要と思うが。



問 平成元年に旧水上町が中部統合簡易水道事業計画を策定したが実現していない。現在、大穴、湯松曾、幸知、綱子に町が管理する浄水場があり、粟沢区は独自の水道組合で運営している。深刻な水不足解消に向け、再度、この計画を進め水道施設の統合を検討してはどうか。

答 町長 水利の確保は住民の安全安心のためにも必要。水道工事と一緒に設置工事をするのは、経費の削減になるので設置の方向で検討していく。

答 町長 町水道事業経営戦略に基づき、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組み財源を確保し、安定的に水道事業を継続していくための施策を推進していく。

答 町長 厳しい労働環境を背負っていることから、より多くの人材が必要と考える。専門的な知識と技術を有する職員の配置など、組織体制の整備に向け具体的な検討を進める。

*注1 経営、組織を管理する業務。



小林 洋 議員

町長 温泉施設の今後の展望は外部の意見も聞き検討

問 日帰り温泉施設について、町にとってこれら施設はそれなりの重要なポジションであると思うが、各施設は時間経過も伴って老朽化が進んでいる。これらについて、将来的にどんな考えでいるのか。

問 老朽化により、施設自体の魅力がなくなってきたのではと考えているが、待ったなしに対応が必要な施設はどのくらいあるか。

問 町の歴史文化を理解してもらいながら、財政も踏まえ、中立的な第三者を交えた検討委員会を立ち上げるべきと思うが。

答 町長 観光の町として、重要な施設であると考えているが、老朽化している施設も大変数多く、何らかの方向性を示さなければならぬ時期に来ているのではないかと考えている。日帰り温泉施設は、今後、各施設の現状を把握し、あらゆる可能性を排除せず、公共の日帰り温泉施設がどうあるべきかをしっかりと検討していきたいと考えている。

答 町長 修繕は毎年のように行っているが、20年から30年以上経過しているもので、あらゆる施設が配管等の不具合を生じる状況に達している」と認識している。

問 入浴料は条例で決まっている。入浴料は収益の基本。物価上昇の中である程度入浴料に幅を持たせ、事業者に裁量を与えてみるのはいかがでしょうか。

答 町長 物価高騰で柔軟な対応というものはあつてしかるべきだと思う。この質問を契機に、当事者や議会と相談していきたいと考える。



写真はイメージです。



旅館等の日帰り入浴料はプランにより様々です。





鈴木 美香 議員

赤谷PJ 20周年記念は大きな節目 プロジェクト 町長 イベントを検討

問 赤谷PJについて、町長の認識は。

答 町長 関東森林管理局、日本自然保護協会、地域住民により組織された赤谷プロジェクト地域協議会の3者が、三国山地／赤谷川・生物多様性復元計画推進のために協定を締結。

問 多くの大学教授や関係機関の関わりの中で積み重ねてきたデータは大変貴重なもの。ユネスコエコパーク登録にも大きく寄与した。町の認識は。

答 町長 赤谷PJにより得られた多くの知見が申請に生かされており、自然保護協会に申請書の作成の一部を委託すると共に、ご指導いただいたことが大きく結びついた。

問 小学校の教育にも自然豊かな環境を活かした教育がなされている。環境学習発表会の詳細は。

答 町長 4年ぶりに開催する予定。この機会に、赤谷PJ 20周年のイベントを併せて実施する検討を行っている。

問 町民の皆様がどのように参加できるのかは大事な要素。参加していただきやすいプログラムの検討や実働的な活動参加に、町も積極的な共催、後援や支援が必要では。

答 町長 所管する林野庁等の関係団体と連携・協議したい。

CAPプログラム導入を

*注1 こどもたちが、いじめ・痴漢・誘拐・虐待・性暴力といった様々な暴力から自分を守るための教育プログラムのこと。

問 町内の児童虐待が疑われる相談件数は。

答 町長 継続も含め8件。種別は身体的な虐待6件、養育不足2件で、増加傾向にある。

問 町内小中学校におけるいじめ相談件数は。

答 教育長 今年度4月から10月までの統計で29件。悪口、嫌なことをされた、軽くたたかれたが多い状況。

問 問題を解決する方法は。

答 教育長 いじめ防止基本方針を各学校がつくっている。それに基づき各種取り組みを行っている。

問 様々な場面で一人ひとりの可能性を大事にするCAPプログラムについてどう思うか。

答 町長 地域全体で子供の安心・安全を守るための取り組みの中で大変重要なもの。参考としたい。

問 県内の様々な地域で講演会が実施されている。町民の幸せや安心・安全なまちづくりにつなげる一助として取り入れては。

答 教育長 すぐ取り入れるというのはなかなか難しいが、いろいろある中の一つとして参考にしたい。



石坂 欣也 議員

温泉文化をユネスコ無形遺産に 町長 全国的な動きの中で進める



問 温泉文化登録について、全国、県、また有識者の運動が報道される中で、町の取り組みは。

答 町長 県が活発に取り組んでいることは承知している。9月現在、温泉地を有する36道県が参加しており、本町では国民保養温泉地協議会が主体となり合同セミナーを開催した。

問 2026年の登録に向けて、本町でも推進してほしいが。

答 町長 温泉文化は日本特有で歴史も長く、世界に誇れる文化だと思う。全国的な動きの中で進めるべきで、全体で機運を盛り上げる活動には積極的に参加すべきと思う。

文化財の維持管理

問 文化財維持管理、地域に根ざした風習、お祭りなどの伝統に向けた取り組みは。

答 教育長 民間所有の指定文化財は所有者と年間委託し管理。国、県指定の建物や天然記念物は、県文化財保護指導員が定期的に点検。町は補助金や修繕等の技術的指導による支援を行っている。また、伝統文化は生涯学習課で把握しているものが現在30件。その内約8割は後継者がなく、継続が心配な状況。地域に根ざした風習、お祭り等の伝統の取り組みは、発表機会の提供や映像記録の保存等を行っている。

問 建物の老朽化、改修費捻出が難しくなる中、歴史文化財等を観光でとらえ、それらの観光収入をあてたらと考えるが。

答 教育長 観光目的に文化財をアピールすることが重視されている。名胡桃城址は平成27年のNHK大河ドラマ「真田丸」以降、毎年2万人近い来訪者があり、観光協会、歴史ガイドの会が町と連携し、保存と活用を努めている。今後、文化財の魅力を再考し、観光面でのモチベーションとなる新たな文化財の掘り起こしや活用方法を考える必要がある。

問 歴史文化を想い、みなかみ町のファンになってもらうことが観光立町となるのでは。

答 町長 しかるべき時期にしかるべき人事を提案したい。

円滑な町政運営

問 円滑な運営のために副町長を置く気持ちは。

答 町長 重要なポストと認識している。一年たち「町長と語る会」等もしっかりとこなしている。健康を維持しつつ、精力的に親切、丁寧な町政を進めていきたい。

問 公募や、町内の優秀な人材登用を考えては。

答 町長 しかるべき時期にしかるべき人事を提案したい。



星野 宗央 議員

産官学金連携協定の事業は 町長 水上温泉街の再生



問 産官学金連携協定のこれまでの実績は。

答 町長 令和3年9月22日、町・群馬銀行・オープンハウス・東京大学の4者が包括的連携の下に協定書を締結。水上温泉街の再生、廃墟再生マルシェを開催。旧一葉亭の再生・活用は、公募型のプロポーザル実施に向け現地見学会を行っている。

注1 地方自治体などが業務を外部に委託する際に利用する発注方式。

問 住民サービスにどのようなつながっていくのか。

答 町長 廃墟が再生され、事業者が入ってくることで、雇用の創出・地域の活性化など広い意味で住民サービスにつながる。解体して再

生する取り組みをしっかりと支援していく。

問 協定についての町の立場は。

答 町長 対等で相互に連携しながら、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進。地域社会の発展と地域経済の活性化及び住民サービスの向上に資する事業を推進していく。

問 住民の要望、話をしっかりと聞いて取り組んでほしい

答 町長 地域の方々には、説明等をしっかりとして、迷惑をかけないように、安心して見守っていただけるよう進めていきたい。

マイナンバーカードの利用状況

問 国は、2024年秋に現行の紙の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードと一体化する方針を打ち出した。しかし、マイナ保険証の利用率は4.5%。町での取得状況は。

答 町長 11月12日時点の申請率は86.9%、件数は1万5301件。

問 返納、失効、受け取りに來ない方は。

答 町長 返納については、3家族12名の方が自主返納。

問 利用方法は。

答 町長 例えば本人確認。朝6時半から23時までの間、コンビニで住民票、印鑑証明書、納税証明書

等、役場窓口より50円安く取得できる。藤原地区は藤原郵便局のマルチコピー機にて利用が可能。

問 健康保険証の一体化は、問題なく進んでいるのか。

答 町長 問題なく進んでいると認識している。

問 資格確認書は、マイナ保険証を持たない人に発行するのか。

答 町長 国が進める制度なので交付する。

問 資格確認書を交付するならば、紙の保険証も残しては。

答 町長 そういう考えの方も当然おられると思う。



活動報告

11月2日 研修

吉岡町文化センター



「地方議会における議会の目指すべき多様性とは」～議会ハラスメントの現状と対策～
上智大学法学部教授 三浦まり氏
「地域活性化とテレビ」
元NHK政治部記者・元NHK会長秘書 三浦 元氏
議会ハラスメントの問題は意識改革や教育の重要性が訴えられており、議員や議会関係者だけでなく社会全体が協力して解決に取り組んでいく必要があります。改めて課題であると考察を深めました。

群馬県町村議会議長会が主催する研修会に全議員が参加し、上記の講演を聴講しました。

活動報告

議会だより 編集特別委員会

11月21日 研修

市町村会館

全国町村議会広報表彰審査委員であり議会広報サポーターも務めている芳野正明氏による講演を受講しました。
テーマは「議会の見える化」と住民との「信頼関係」。
議会や広報の役割について話されたあと、議会広報の編集・構成・目的において一番大事なことは「読み手である町民の皆さまに読んでいただくこと」であると強調されました。
議会が身近なものであると感じられるよう、わかりやすく、見やすい紙面づくりに努めてまいります。



活動報告

総務文教
厚生
常任委員会

11月10日 総文委員会レポート

課題 財政調整基金の積み増しと歳出抑制

財政課の説明概要

町の公共施設は、膨大な維持経費や老朽化に対応するコストの増大が懸念されており、インフラ

施設等の維持経費を検討し、歳出の抑制が急務となっている。また、平成28年度より町の貯金である財政調整基金の取り崩しが続いている。

令和5年10月に「みなかみ町財政計画」を策定し、財政調整基金の目標値として令和6年度から10年度までの5年間に於いて、財政調整基金の残高を27・4億円（現在）から37億円を目指すこととした。



目標値を達成するための行動計画も策定し、①公共施設の統廃合②公用車の活用整理等を進めるとした。町が所有する公用車（スクールバス、消防車等）は284台あり、それら車両の更新等の維持管理に10年間で約20億円以上が使われてきた。特に、年間数回程度しか使われない電気自動車や中型車両以上の公用車の活用は限られていることから、活用の整理

をしていきたい。想定効果額は、1200万円/年である。

委員長のまとめとこれから
前回の委員会では財政課から、大変厳しい財政状況に鑑み、公共施設統廃合の再検討を行いたいとの報告を受けている。（76号11ページ参照）

当町は、群馬県の1/8の面積を有し、インフラ維持整備にかかる費用の割合は他の近隣自治体よりも多く、また公共施設の維持

その他の議題

- ・防災無線撤去の経過
- ・戸別受信機住民配布の制限の見直し
- ・旧月夜野地区にある官公造林地に関する経過
- ・旧新治中学校の利活用に係る経過
- ・第83回国民スポーツ大会のホッケー競技会場の計画（令和11年in みなかみ町）
- ・こどもの居場所 Peace of cake の状況
- ・いにはるこども園民営化に関する当局の考え方
- ・雪下ろし固定アンカーの設置
- ・2次交通の課題に対する町の取り組み状況
- ・その他

活動報告

総務文教
厚生
常任委員会

12月7日 総文委員会レポート

課題 安心・安全なくらしのために

当委員会は、各委員が日頃より行う議員活動の中で、町民の皆様から伺った安心・安全な暮らしのために、必要な意見や今後の行政運営に対する考えを、町行政へ伝える場としての役割も担っている。

委員と担当課とのやり取り

質 月夜野小学校開校に向け通学路の安全確保等、町の取り組みは。



答 通学路に関しては町道のみならず県道も多く、県土木事務所と協議が必要になる。まずは確認し、計画性をもって進めていきたい。

質 悪戸・矢瀬線に設置予定の信号機の進捗状況は。

答 12月中旬に設置される予定。それに伴い、桃野小下の信号機は渋滞緩和のため、歩車分離式ではなくすることも周知する。



質 現在の課を跨いで体育施設等が管理されている。今後の施設管理の方向性は。

最後に、体育施設等の管理体制の一元化は、町の管理の効率性のみならず、町民にとってアクセスの集約化にも繋がること予想され、双方にとって利便性の向上が期待される。当局には、町民生活の安心・安全な暮らしのため、引き続き尽力していただきたい。

委員長のまとめとこれから

悪戸・矢瀬線の信号機設置は、事故が多発し最重要課題であった。それ

活動報告 産業観光
生活環境
常任委員会

11月22日 管内視察

鹿野沢地内

除雪車・除雪機械格納庫

令和5年度社会資本整備総合交付金事業により建築中の除雪機械格納庫について管内視察を行いました。

冬の厳しい積雪に対応するため、除雪機10台が収容できる設計となっております。

また今年度、除雪車3台が新



除雪機械格納庫。今までは除雪機械を出勤させる前に、まず機械の上に降り積もった雪落しが必要でした。格納庫が完成すれば迅速に作業が開始できます。

たに導入されました。当町は現在、町所有44台、業者所有38台の除雪車にて作業を行い、住民生活や観光客への安全な道路環境整備を図っています。

しかし、課題としてオペレーターなど従事者の減少があり、必要な人員の確保が難しくなることが懸念されています。

そこで試行運行として、安全面に配慮し、モニター及びドライブレコーダーを設置した除雪車による、除雪機械の一人乗り化を試行します。

今後、安心・安全な冬の道路整備に向け、課題として捉えていきたいと考えます。

活動報告 産業観光
生活環境
常任委員会

12月2日 視察

新潟県津南町

第25回 米・食味分析鑑定コンクール国際大会inつなん

「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」は、国内外最大の米のコンクールです。その審査方法は、食味計、味度計を使った審査、そして審査員の食味による評価により、「お米の味」にこだわった方法で行われています。

当町からは水月夜、JA米部会の生産者の方々がエントリーし、1名の方が国際部門の特別優



秀賞を受賞され、利根実業高等学校の生徒は「お米甲子園」で金賞を受賞されました。

一人あたりの米の消費量は、1962年の118・3kgをピークに年々減少。2022年では50・8kgと半減しています。理由は、食生活の多様化、少子高齢化、世帯構造の変化など様々な要因が挙げられ、今後もさらに加速していくと考えられています。日本の食文化の基礎として根付いた米は、食料安全保障の要ともなわれていて、気候変動による生産減少など不測の事態に対応するためにも、不可欠な作物です。

消費量や価格の下落、後継者不足など、現在抱えている課題は多くあります。米の価値やブランド力を高め、生産者を絶やさず米の食文化を継承していくという意味も含め、委員会としても課題と認識し、推進に向けてできることから取り組みたいと思います。

まちの匠
machi no takumi

まちの匠とは、文化、伝統、自然、生活などの知識や技能、技術を持つ方々のことです。
みなかみ町の匠を紹介します。



匠ナンバー

4

門松づくりの匠

石坂 是義 さん
Ishizaka Koreyoshi (77歳)



この取材を受け石坂さんは「17年を最後にしようと思ったのになあ。でも、議会たよりに載るならば、もう少し頑張るか。」と話されます。
その後は後継者を育てようとしています。

— 生まれたところ、育ったところ
旧水上町。

— どんな匠なの
年末に向けて門松づくり、お寺や観光施設などへ届けています。材料の竹や松、藁は全て近所から調達しています。特に藁は、自分の田んぼで稲が青いうちに刈り取り、日影干しにより青さを保っています。

— 匠になった経過は
平成11年ころ、観光会館に勤めていた野村氏に手ほどきを受けたのが始まりです。製作するには土台から始めおよそ25日かかります。年々つくる数は減らしていますがつくり続けています。

— 門松の楽しみ方をみなさんへ
門松には「松竹梅」などの祝いの要素が取り入れられています。それぞれの意味を知りだけでも楽しいのではないのでしょうか。



★この頁は町民皆様にご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加下さい。
★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いたします。

参加のきまり

下のハガキまたは、裏面の FAX 用紙などに、クイズの答え・住所・氏名・議会だよりの感想を記入し、お送りください。
※下のハガキは、裏面を記入後に必ずのり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑 318
みなかみ議会だよりの「クイズ・感想」係
締切：令和6年2月29日(当日消印有効)
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

中学生議会で質問した生徒は何人？

- Ⓐ 6人 Ⓑ 16人
- Ⓒ 66人

前回の議会だよりの76号ふるさとクイズの正解は『◎161.3億円』でした。

3791390

群馬県利根郡みなかみ町後閑318

みなかみ議会だよりの「クイズ・感想」係

料受取人私郵便
沼田局承認
1024
差出有効期間
令和7年3月31日まで
(切手不要)

記入欄は裏面にあります



イワヒバリ (撮影場所：藤原)

議会傍聴のご案内

規則を守り傍聴してください

……流れ……

- ①受付にて「受付表記入(住所・電話番号・氏名・年齢)」
- ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
- ③傍聴席へ
- ④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了

※飲食・録画・録音・写真撮影は禁止

今回の定例会は

3月5日(火)～
3月14日(木)の予定

場所：役場本庁舎3階議場
時間：開会は9時
席数：34席
【問合せ先】議会事務局
☎25-5023

80代
76号の表紙は、高齢な方々が元気にラウンド・ゴルフを楽しんでいる様子良かったです。(下牧)

60代
(決算の特集を見て)思っていた以上に税金が掛かるのでびっくりした。(真庭)

ちがひれた感想

議会傍聴のこと
興味のある一般質問があったので傍聴しました。事前には大変だろうと思いましたが、初めて議場へ入りましたが、飲食や声出しをしないこと、議長の仕事が大変なことを知り、ためになりました。
今回の傍聴を一言で言うなら「楽しかった」です。(粟沢)

議会だよりの編集特別委員会

- 委員長…鈴木 美香
- 副委員長…星野 宗央
- 委員…江口 樹
- 石坂 欣也
- 阿部 清
- 編集アドバイザー
利根川太郎
- 編集モニター
利根商業高等学校生徒

虚礼廃止にご協力を

議員は公職選挙法により、下記の行為は禁止されています。また、町民の皆様が議員に寄付を求めるようなことも禁止されています。

- 趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。
- 秘書などが代理で出席する場合の結婚祝
- 入学祝・卒業祝
- 町内会の宴会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ
- お祭りへの寄付や差し入れ
- 落成式・開店祝の花輪
- お歳暮やお年賀
- 葬式の花輪
- 供花
- 秘書などが代理で出席する場合の香典
- 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ

編集後記

令和6年が始まりました。皆さま、新たな年を心穏やかに迎えることはできましたでしょうか。
議会だよりの発行予定日である1月15日は小正月にあたります。この時期に行われる「どんど焼き」は、農作物の豊作や家族の健康を願いながら、正月行事の締めくくりとして年神さまをお見送りする伝統行事とされ、地域によって意味ややり方に諸説あり、呼び方も様々。季節行事というなかで子どもたちに大きな火柱を間近に見せることで、火の怖さを教えるよい機会でもあります。
空気が乾燥し火災が発生しやすい時季になります。日頃から防火に努めていただきますよう、ご協力をよろしく願います。(鈴木美香)



感想

皆さんの
感想

ハガキの方は、この線で切り取り

内側へ貼り合わせて投函してください。

← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127



○クイズの答え ⇒ _____

○差出人住所 ⇒ 〒 _____

(ふりがな)

○差出人氏名 ⇒ _____

○年代 ⇒ ・～10代 ・20代 ・30代
(該当項目に○印を
付けてください) ・40代 ・50代 ・60代
・70代 ・80代～

谷-折-り-線

○議会だよりの感想

のりしろ

のりしろ

のりしろ